

有限会社ワタマン				
業種	卸売・小売業	事業所所在地	千葉県柏市	
		資本金	10,000千円	
		従業員数	5名	
 		被承継者（左）		
		渡部 清美	55歳 ※承継時	
		承継者（右）		
		矢ヶ崎 敏一	63歳 ※承継時	
事業承継時期		承継者と被承継者の関係		
2018年 7月		従業員（親族外）		
承継前の主たる事業の内容		承継前の主たる事業の課題		
キムチ等食品の製造販売		新販路の開拓（新たな流通ルートや直販の確立等） 事業所が狭く古く、また立地もよくなく、新規事業を展開するのに無理があった。		
事業承継を実行するまで				
きっかけは？		承継計画の立案		
承継実行の	2年前	被承継者と承継者で話し合ったこと		
商品のひとつである「無添加のタレ」が、全国の食品関係や公共団体の商品に応用できる可能性がないかと考えた。このタレは、健康志向の強まる今後の流れの中で、きっと注目される存在になりうると考えた。		既存店舗から新規店舗に移ることの可能性、リスク。		
		関係者との調整		承継者の承継に対する不安
		金融機関への相談、税理士や経営コンサルタントへの相談。		
		果たして承継がスムーズに進むかどうか、金銭面や事業面での一般的な不安。		
		資金的に十分な準備ができるかどうか。		
これに一番苦労した！				
承継者の年齢的に、果たして金融機関から融資が降りるかどうかと、見つけた新立地の店舗・工場をオーナーさんから借りられるかどうかで苦労しました。				
事業承継について相談したこと				
相談機関の業種	承継に関して受けたサポート内容			
コンサルティング会社	まずそれまでの経営内容の分析から、具体的な問題点を指摘された。それを克服するために、事業コンセプトの確立と、商品構成のキーポイントを示してくれた。また、事業計画の策定もしてくれて、金融機関への説明にも同行してくれた。			
いつから相談？				
承継実行の				1年前
相談のきっかけ				
その他：異業種交流会で知り合った				

新たな取組の表題	
「完全無添加」旨辛ダレ食品の市場拡大と技術継承者育成の事業化	
新たな取組の内容	その他の新たな事業活動
<ul style="list-style-type: none"> ●小売業として好立地の新店舗に移転し、十分な作業スペースも確保できました。また、店舗内には、数名の小さな会議やミーティングもできるように設計しました。 ●ここを拠点に、まず小売の売り上げを確保し、次いで「完全無添加」のタレ関連の新製品を開発して、それを使った製品を店頭で試食や販売をして、顧客の反応を探っています。 ●また、新たな「塩」の開発にも成功しました。これは、無添加でありながら強い旨みを持つ「塩」で、これで野菜を漬けると、無添加でも非常に美味しく、早く漬けあがります。これを「完全無添加のうまからダレ」の原料の一部として活用し、さらに自社の商品に応用していくと同時に、無添加のタレの全国への事業展開への大きな足がかりにしようと考えています。（下の写真は、その「塩」と、それで漬けた白菜） 	
 	
地域経済やバリューチェーンへの貢献	補助対象経費の内訳
地域の商店会に加入し、地域イベントへの参加も計画しています	 <p>経費の主な使い道</p> <ul style="list-style-type: none"> 設備費（内装工事費） 廃棄費（旧店舗廃棄物処理費）
認定経営革新等支援機関から受けたサポート内容	
<input type="checkbox"/> 制度内容の理解 <input checked="" type="checkbox"/> 事業計画の立案 <input checked="" type="checkbox"/> 各種提出書類の作成 <input type="checkbox"/> 補助事業の実施	
日々の売り上げの動向や、新規商品の進行具合について報告し、適宜アドバイスをもらっています	
今後に向けて～次の目標	
2018年から2021年までに	強みは無添加の食品開発なので、新店舗を拠点に、相談やセミナー、普及活動も行き、多角的に本業を展開していきたい。
売上高 300%UP	
これから事業承継に取り組む事業者の方へ	
被承継者からの一言コメント	承継者からの一言コメント
悩んだ時には、いろいろ周囲の人に率直に意見を求めるといいと思います。	事業承継や、新規事業のチャンスはそうはないと思います。ここぞと決めたら、勇気を持って進むことも必要です。